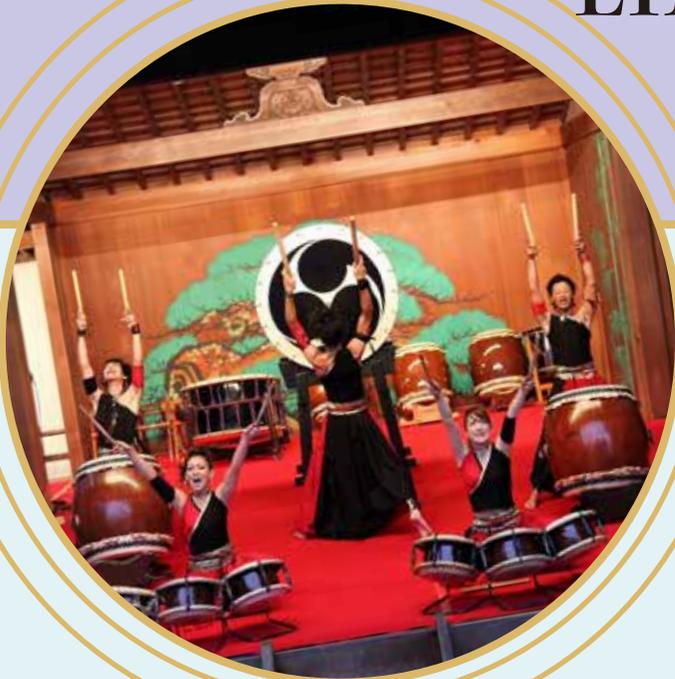


三浦太鼓 様

触れて、思い出になる看板

・
LINE リッチメッセージ



課題・ご要望

- ①和太鼓店のイメージを敷居が高いものではなく、「親しみやすさ」「おもてなし」
- ②大きな看板の為、何か仕掛けをつくりたい
- ③見たときに和んだり、話題やネタになるような看板



等身大
・
立体的な看板

お客様に
SNS等で発信を
していただき
認知度を上げる

若年層からシニア層、インバウンドの方達など、どの世代・性別にもささるようなデザインテーマが必要。

【集客や話題になる看板とは... ?】

▶ 顔抜きパネル

▶ 視認性の高いデザイン

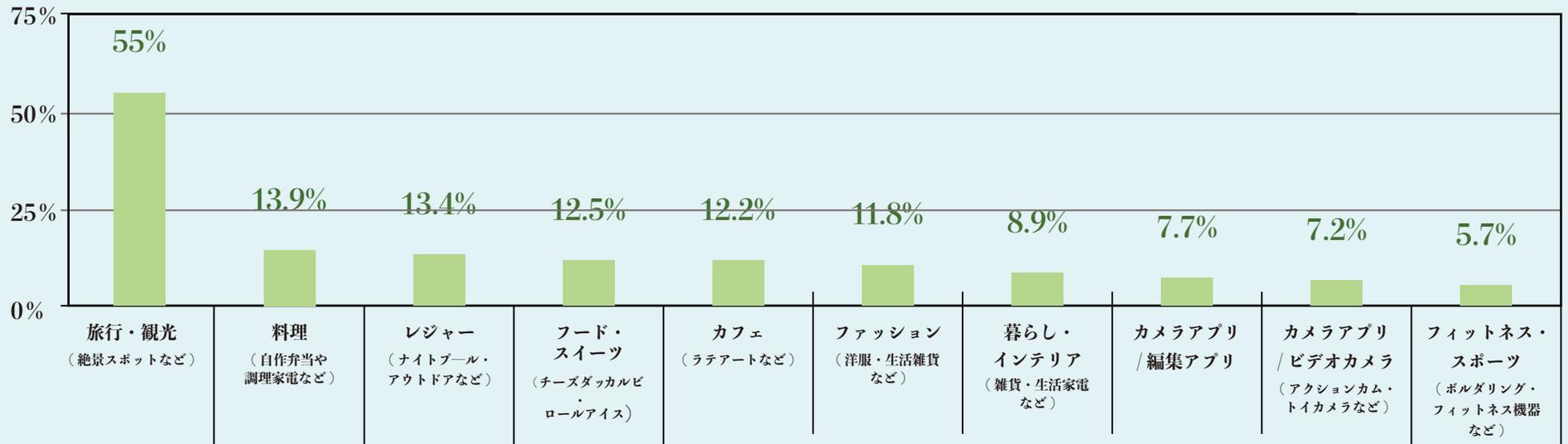
▶ 看板アート、立体的アート

【 SNS で取り上げられている情報とターゲティング 】

SNS にアップする写真や動画を撮影するためにお金を使ったことは？（複数解答）

対象：SNS にアップする写真や動画を撮影するためにお金を使った事がある人

※全体の上位 10 位で表示



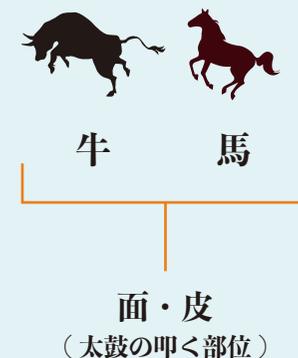
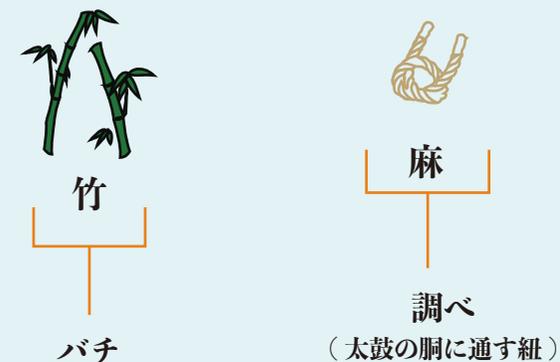
｜ コンセプト

- 触れて、撮影もできる岡崎市の1つのスポットになる様な看板。
- 誰もが気軽に触れたり・撮影をして頂き、SNS等への発信が広告代わりになる。
- 太鼓を知ってもらうきっかけとなり、太鼓の伝統と魅力を伝えたい。

｜ デザインモチーフ

- 貴社が伝統として大切にされている「音」を受け継ぐために【素材】や【技術】を守ることも大切にされている。
- いつまでも変わらない音を作り続けられるように太鼓、バチを制作する上で必要な素材をモチーフにしました。太鼓が何で出来ているかを知り、興味をもって頂く機になればいいかと思えます。

【太鼓の素材】



看板デザイン



影がついている

「牛」「馬」「雲」「バチ」は、
立体になります。

中央のバチは、**実際に掴んで太鼓をたたいているようなイメージ**で記念撮影が出来ます。

気軽に撮影をして
頂けるようにバチの
近くに **touch me**
と記載しています。

LINE リッチテキスト



看板設置イメージ

